

## 平成 29 年度 事業所向け 放課後等デイサービス 評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			学校休業日等生活介護事業と一緒に過ごす際に手狭に感じることはあるが、基準よりも大幅にスペースを確保している。 状況に応じて個室やアコーディオンカーテンの利用などを行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		基準上の配置はクリアしている。一方で送迎などの対応で、現場が手薄になる時間帯もある。多機能型事業所として生活介護事業の職員と協力して対応しているが、今後複数の学校や小等部の利用希望があった場合に、対応が難しくなる可能性あり。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車椅子でも利用できるような設備にはなっているが、扉が狭い等課題はある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		課題については、定期的な会議の開催を通して、その都度、話し合い、振り返ることはできているが、まだ改善の余地はあると思われるので今後も継続していく。 各種の年間計画のようなものを立てていく必要があるかを検討する。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年一回のペースでアンケートの実施をしている。今後もアンケートを実施し、保護者のより良い評価を頂けるように努力していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回の結果も公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修に参加等し、その内容を全職員に周知している。内部研修の充実をさせていくことが課題。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			できている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	施設独自のものを利用しているが、標準化されたものの利用については検討中。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日頃より職員間で話し合い、活動の内容を決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者への意思確認の時間を作り、意見を活動に取り入れるなどしている。一方で、固定化された過ごし方をする事で、落ち着いて過ごすことができる利用者もいるため、利用者の様子をみながら、プログラムを工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			特に学校休業日には積極的に施設外に出て活動する機会を作る、多機能型事業所としていろいろな年代の利用者と活動を共にするなど、活動の内容や目的の工夫をしている。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			できている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○	概ねできているが、情報の共有が不十分なこともある。徹底していく。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	概ねできているが、情報の共有が不十分なこともある。徹底していく。特に職員の休日を挟んだ際の情報の共有、送迎終了時刻が遅くなってしまった際の振り返りの時間の確保の困難さが課題である。記録の充実をしていく。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			○	概ねできている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			面談等を通して定期的な見直しを行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか			○	概ねできている。ガイドラインの理解を個々の職員がより深めていく必要がある。また、地域交流など不十分な面もあり課題。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が主として参加しているが、その他の職員も参加する機会を積極的に作っている。	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			支援学校主催の打ち合わせに参加し、年間の予定などの情報を頂いている。また、日頃から送迎時の教員との対話を通して、概ね必要な連絡を取ることが出来ている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				○	現在、医療的ケアの必要な利用者を受け入れていない。看護師がいらない等の問題もあり、今後の検討課題である。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				○	相談支援事業所やケア会議を通して、過去の情報を頂くことはあるが、直接のやり取りは行っていない。必要に応じて行っていきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				○	現在そのケースはまだないが、情報提供の出来れば、応えていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				○	研修には参加しているが、助言を受けるまでには至っていない。必要に応じて行っていく。
	㉖	障害のない子どもや地域と活動する機会があるか				○	積極的に外出の活動を取り入れ、地域と関わる機会を作っている。一方で、障がいのない子どもとの関わりに関しては現在行っておらず、どのような実施の仕方が可能で、有効なのか検討している。

	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		児童発達支援管理責任者が、会津美里町自立支援協議会の子ども支援部会に参加している。また、同町の障がい福祉計画策定委員としても行政や他事業所と連携している。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や送迎時の対話を通して、情報の交換をすることができる。より信頼され、多くの相談をして頂けるように職員一同努力していく。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	助言や相談は行っているが、十分とはいえない。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っている。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	相談があれば、助言や支援など行い、内容によっては、各種機関や学校とも連携を図っている。一方で、すぐには解決できない課題等もあり、職員のスキルアップが必要だと思われる場面もある。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	できていない。法人として、必要性を検討する必要がある。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		契約時に説明している。 苦情あれば迅速に対応していく。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	会報の作成を H29 年 7 月に実施した。利用者、ご家族等の反応を見て、継続するか検討する。また、Instagramなどの SNS を活用して情報を発信することを検討中。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○		管理については徹底している。 写真の利用に関しても契約時に確認し、同意が得られない場合は、広報等への利用は行っていない。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○	配慮を行っているが、日々どのようにしたら、本人に伝わるのか考えながら支援方法を改善していく。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	行っていない。
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	策定をし、閲覧できる状況ではあるが、周知するには至っていない。今後、直接保護者に提示する方法を考えていく。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	これまで何度か行っているが、全利用者が参加出来ているわけではないので、日程や内容の工夫などしていく。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部研修への参加を行い、その結果を全職員で共有できている。マニュアルを施設内に掲示し、会議等でもその都度確認しあっている。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			実施している。やむを得ず必要で同意を頂いている場合でも、身体拘束のない状態を目指して支援していく。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		該当者は現在いないが、その都度必要な対応をしていく。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事例に関しては全て全職員で確認し、共有している。 細かな事例でも事故につながると考え、積極的にヒヤリハットの事例をあげていく必要がある。